

# 熊本大学法学部地域公共人材クラス

## 地域公共演習Ⅰ第14・15回（1月16日） 活動紹介

熊本大学法学部地域公共人材クラス生が履修する1年次後期の地域公共演習Ⅰでは、プレゼンテーション能力の向上のため、外部の方に評価していただく最終プレゼンテーションを2024年1月16日に実施しました。11月には個人プレゼン大会を実施していますが、最終プレゼンは3チームにわけて実施しました。報告のテーマは「各企業の地域貢献・SDGs」です。今年度は熊本銀行様のご協力を得て、熊本銀行・積水ハウス・KAB熊本朝日放送の3社に対して事前インタビューなどを実施し、各社がどのような企業活動を営んでいるか、とりわけどのような地域貢献を行なっているかの観点から、将来に残すべき企業か否かを評価し、その成果を発表しました。



当日は積水ハウスチーム・熊本銀行チーム・KAB九州朝日放送チームの順に持ち時間15分でプレゼンテーション、15分で質疑応答を行いました。三社からは合計11名の方々にご出席いただき、コメント・講評をいただきました。例えば積水ハウスチームはプレゼンの中で比較対象としてダイワハウスを選び、積水ハウスの企業としての価値を比較するという手法を取り入れていましたが、積水ハウスの方を含めたコメンテーターの多くの方から対象の選択が適切であるとの高評価をいただきました。なおこの日の優勝は、僅差でKAB九州朝日放送チームでした。



評価にあたっては、スライドの見やすさなどのプレゼンテーションにおける技術面の他、考察の独自性、取材内容の正確性などの企業研究の質などをチェックしました。当日の質疑応答と講評を通じて、各チームは自分たちの考察の浅さや、不十分な点などの指摘を受け、苦い思いも感じたのではないかと思います。しかしながら1年生後期の今の段階でやり切ったと満足してしまうより、足りない点を認識して次のステップに進んでもらいたいところです。

最後に、熊本銀行・KAB熊本朝日放送・積水ハウスの皆様には、年末年始のお忙しい中取材に応じていただく等多くのご尽力を賜り、ありがとうございました。今後とも学生が地域の経済社会に目を向ける機会の創設にご協力いただければ幸いです。